

同時発表：宮崎県、宮崎市

平成 29 年 10 月 31 日
九州地方整備局**南海トラフ巨大地震を想定した、九州地方で最大規模の実動訓練
～訓練は宮崎港東地区 13 岸壁にて 11 月 3 日（金）8 時 45 分より実施します～**

11 月 5 日は「津波防災の日」であり、国連が制定した「世界津波の日」です。
これにあわせ、地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に、南海トラフ巨大地震により九州で最大の津波被害が想定されている宮崎県を会場として 11 月 3 日（金）に大規模津波防災総合訓練を実施します。

【訓練のポイント】**○ 九州地方で過去最大規模**

- ・九州地方で過去最大の 1 4 5 機関が参加 する陸・海・空にわたる訓練。
- ・宮崎市郡医師会病院での災害時医療活動訓練を始め、大宮小学校等での避難所運営訓練や新田原基地への患者搬送訓練など広域にわたる実働訓練。

○ 地域住民や外国人留学生が参加

- ・津波避難訓練には、地域住民や外国人留学生が参加。
- ・メイン会場では、今年 3 月に 2 箇所目が完成してから初となる 宮崎港津波避難施設（避難高台）への避難訓練 を実施。

○ 100 を超える陸・海・空の機械が集結

- ・国土交通省の掃除兼油回収船「海翔丸」、海上保安庁の巡視船「おおすみ」等 1 6 隻の船舶、航空自衛隊ヘリや国土地理院航空機等 1 1 機の航空機、国土交通省排水ポンプ車や宮崎市消防局化学消防車等 7 5 台の車両 が集結。
- ・地震体験車による東日本大震災の揺れの体験や降雨体験機による時間雨量 1 0 0 mm の体験、海上保安庁のヘリを搭載した巡視船の一般公開を実施。

訓練の詳細については、添付資料及び「平成 29 年度大規模津波防災総合訓練」ホームページ（<http://www.tsunamibousai29.jp>）を参照下さい。

○問い合わせ先

【訓練内容】

九州地方整備局企画部防災課
緊急災害対策調整官 永利 信太郎
代 表 092-471-6331（内線 3125）
直 通 092-476-3544
F A X 092-476-3467

【取材に関する内容】

九州地方整備局 広報広聴対策官 下田 寛
代 表 092-471-6331（内線 2117）
直 通 092-476-3506
F A X 092-476-3457

11月5日は
「津波防災の日」
「世界津波の日」

平成29年度

大規模津波防災総合訓練

11月5日は我が国の「津波防災の日」であり、国連が制定した「世界津波の日」です。地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、陸・海・空にわたる本番さながらの訓練を実施します。ぜひ、ご来場下さい。

日 時 平成29年11月3日^祝 金

8:45～12:00 小雨決行 ★入場無料

【メイン会場】
宮崎市宮崎港東地区13岸壁

【サテライト会場】
宮崎市郡医師会病院、大宮小学校 他



見どころ

ヘリコプターや船舶、災害対策車両等
陸・海・空にわたる手に汗握る訓練!

防災訓練 南海トラフ巨大地震による
大規模津波の襲来を想定した訓練

- ・地域住民や外国人留学生による津波避難訓練
- ・最新の機器を活用した情報伝達、共有訓練
- ・防災機関による救助・救護訓練
- ・障害物を取り除いて船や車の交通を確保する訓練
- ・炊き出し訓練（試食あり）



見どころ

見て、さわって、体験できる!
最新防災機器の紹介、地震や豪雨の体験も。

体験コーナー

- 震度7の巨大地震も!
地震体験コーナー
- 1時間100ミリの豪雨を体験!
降雨体験コーナー

展示コーナー

- 災害対策機械展示コーナー
- 企業・防災組織展示コーナー
- 訓練使用車両・船舶等一般公開
(訓練終了時間～13:00)

当日はJR宮崎駅東口からメイン会場まで無料シャトルバスを運行しますのでご利用ください。

■JR宮崎駅東口発(8:00、8:20、8:40、9:00、9:30、10:00)
※帰りは12:05より20分間隔で運行。

※なお、混雑状況やその他事情により、運航ダイヤは変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

【主催】国土交通省、宮崎県、宮崎市

【共催】南海トラフ巨大地震対策九州ブロック協議会

【参加機関】指定行政機関、指定公共機関、地方行政機関等145機関

大規模津波防災総合訓練ホームページ <http://www.tsunamibousai29.jp>



平成29年度 大規模津波防災総合訓練

祝
日時 平成29年11月3日 金
8:45~12:00 小雨決行 ★入場無料
会場 【メイン会場】宮崎市宮崎港東地区13岸壁
【サテライト会場】宮崎市郡医師会病院、大宮小学校 他

訓練項目概要

陸

- ・津波情報伝達訓練
- ・津波避難訓練（外国人留学生等も参加）
- ・水閘門閉鎖訓練
- ・人工衛星による情報収集訓練
- ・バイクによる情報収集訓練
- ・応急救急・トリアージ・医療機関搬送訓練
- ・身元確認訓練
- ・延焼中のがれき消火訓練
- ・倒壊家屋からの救助・救出訓練
- ・破損車両からの救助・救出訓練
- ・道路被災状況調査訓練
- ・道路啓開訓練
- ・車両移動訓練
- ・河川管理施設の被災状況調査訓練
- ・堤防応急復旧訓練
- ・緊急排水活動訓練
- ・燃料供給支援訓練
- ・ライフライン復旧訓練
- ・炊き出し訓練（試食あり） など

海

- ・船舶避難誘導訓練
- ・海上での捜索・救助・救護訓練
- ・港湾施設被害調査訓練
- ・航路啓開訓練
- ・流出油防除訓練
- ・物資等海上輸送・給水訓練 など

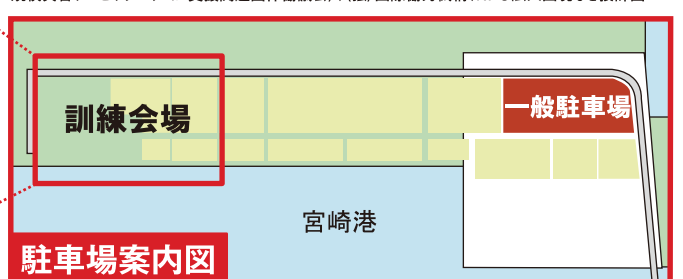
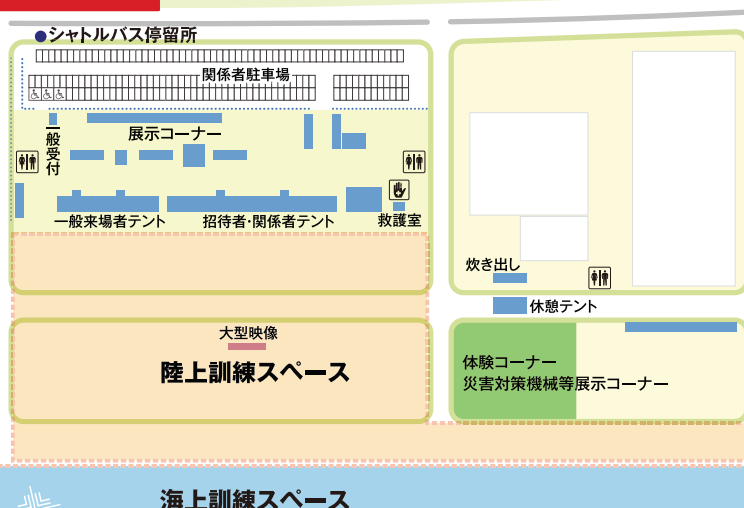
空

- ・ヘリコプターによる情報収集・映像伝送訓練
- ・航空機による情報収集訓練
- ・ヘリコプターによる救助者搬送訓練
- ・ヘリコプターによる孤立者救助訓練
- ・ヘリコプターによる緊急物資輸送訓練 など

【参加機関】内閣府政策統括官（防災担当）、厚生労働省（DMAT事務局）、国土交通省、警察庁九州管区警察、総務省九州総合通信局、農林水産省九州農政局、経済産業省九州経済産業局、経済産業省九州産業保安監督部、国土交通省中国地方整備局、国土交通省九州地方整備局、国土交通省宮崎河川国道事務所、国土交通省宮崎港湾・空港整備事務所、国土交通省九州運輸局、国土交通省大阪航空局、国土交通省国土地理院九州地方測量部、気象庁福岡管区気象台、気象庁宮崎地方気象台、海上保安庁第七管区海上保安本部、海上保安庁第十管区海上保安本部、海上保安庁宮崎海上保安部、防衛省九州防衛局、陸上自衛隊西部方面総監部、陸上自衛隊第八師団、陸上自衛隊第五施設団第9施設群、陸上自衛隊第43普通科連隊、海上自衛隊呉地方総監部、海上自衛隊呉警備隊、海上自衛隊第1輸送隊、航空自衛隊航空総隊司令部、航空自衛隊西部航空方面隊司令部、航空自衛隊第5航空団司令部、航空自衛隊航空救難団司令部、航空自衛隊航空救難団飛行群新田原救難隊、航空自衛隊航空救難団飛行群春日ヘリコプター空輸隊、自衛隊宮崎地方協力本部、日本赤十字社宮崎県支部、宮崎県赤十字血液センター、西日本高速道路株式会社九州支社、西日本高速道路株式会社宮崎高速道路事務所、九州旅客鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社九州事業本部、九州電力株式会社、九州電力株式会社宮崎支社、KD DI株式会社九州支社、株式会社NTTドコモ九州支社、ソフトバンク株式会社、（一社）日本建設業連合会九州支部、宮崎交通株式会社、宮崎ガス株式会社、宮崎日日新聞社、（一社）宮崎県トラック協会、（株）宮崎放送、（株）テレビ宮崎、（公社）宮崎県医師会、（一社）宮崎県歯科医師会、（一社）宮崎県薬剤師会、（公社）宮崎県看護協会、（一社）宮崎県LPガス協会、宮崎管工事協同組合、宮崎県管工事協同組合連合会、（一社）宮崎県建設業協会、宮崎県総務部危機管理局、宮崎県土木整備部、宮崎県福祉保健部、宮崎県警察本部、宮崎北警察署、宮崎南警察署、宮崎県防災救急航空センター、宮崎県中部農林振興局、宮崎県宮崎土木事務所、宮崎県中部港湾事務所、宮崎県精神保健福祉センター、宮崎市総務部危機管理局、宮崎市上下水道局、宮崎市消防局、宮崎市消防団、都城市危機管理課（宮崎県南部地域大規模災害対策連携推進協議会）、都城市消防局、国立大学法人九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター、国立大学法人宮崎大学工学部（ドクターヘリ）、国立大学法人宮崎大学工学部国際防災連携課、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部、（一社）日本埋立浚渫協会九州支部、（一社）建設電気技術協会九州支部、（一社）日本橋梁建設協会、（一社）日本建設機械施工協会九州支部、（一社）日本道路建設業協会九州支部、（一社）日本潜水協会福岡支部、全国浚渫業協会西日本支部、（一社）港湾技術コンサルタンツ協会、（一社）海洋調査協会、石油連盟、（一社）全国測量設計業協会連合会九州地区協議会、（一社）日本海上起重技術協会九州支部、（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部、ダイヤモンド工事業協同組合、（一社）日本建設機械レンタル協会九州支部、全国石油商業組合連合会九州支部、九州港湾空港建設協会連合会、NPO法人九州コンクリート製品協会、（公社）全国土本コンクリートブロック協会、（一社）日本ガス協会九州部会、九州防災エキスパート会、宮崎県倉庫協会、（福）宮崎県社会福祉協議会、NPO法人COMI災害対策センター、西日本空輸株式会社、NPO法人宮崎県防災士ネットワーク、宮崎県環境保全事業連合会、（一社）宮崎県建築協会、（一社）宮崎県測量設計業協会、（一社）宮崎県産業廃棄物協会、宮崎県石油商業組合、（一社）宮崎県電業協会、（公社）宮崎県柔道整復師会、九州西濃運輸株式会社宮崎支店、都城トラック団地協同組合、宮崎県隊友会、（一社）日本自動車連盟宮崎支部、（一財）移動無線センター、（一社）全民救急患者搬送協会宮崎支局、株式会社セザール、八重洲無線株式会社、（公社）日本下水道管路管理業協会九州支部、宮崎地区下水道管路施設協力会、宮崎カーフェリー株式会社、（一社）宮崎市郡歯科医師会、（一社）宮崎県歯科技工士会、（公社）宮崎県養士会、宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、（地独）西都児湯医療センター、宮崎県済生会日向病院、千代田病院、宮崎善仁会病院、宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院、小林市立病院、海老原総合病院、宮崎JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）、（独）国際協力機構、NPO法人国境なき技師団

- JR宮崎駅から会場までのシャトルバスを運行しますのでご利用ください。
- 一般駐車場から訓練会場まではシャトルバスをご利用ください。
- 身障者用駐車場は、訓練会場に設けています。
- 手話通訳のコーナーを用意しています。

訓練会場図



平成29年度 大規模津波防災総合訓練 訓練プログラム

訓練の目的

地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に、国土交通省・宮崎県・宮崎市の主催により、宮崎港において、南海トラフ巨大地震を想定した大規模津波防災総合訓練を実施します。訓練を通じ、各機関の防災計画等の実効性を確認するとともに、相互の連携強化を図り、災害対応能力向上を目指します。



ヘリコプターや船舶、災害対策車両等を駆使し、陸・海・空にわたり展開する臨場感あふれる数々の訓練！その様子は会場内の大型モニターで放映されます。

8:45 9:20 10:00 10:30 11:00 11:30 11:45 12:00 13:00

開
会
式

閉
会
式

訓練使用車両等の一般公開

9:20～ 地震・津波情報伝達訓練

気象台により地震発生後に発表される震度速報や津波警報の情報提供及び解説、気象庁記者会見の映像提供等を行います。また、ヘリコプターや航空機による上空からの情報収集・映像伝送、陸上における道路被災状況の調査やバイク等による情報収集訓練を行います。

9:22～ 津波避難訓練

宮崎港津波避難施設「命の丘」への避難誘導、防災トイレの設置訓練を実施。また、水門陸閘門の閉鎖訓練を行います。



●命の丘



大津波警報発令

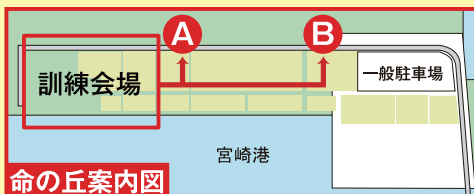
第1波到達

最大波到達

津波警報解除



もし訓練中に地震・津波が起こったら！最寄りの「命の丘」へ避難！



会場アナウンスや係員の指示に従って避難して下さい。

9:58～ 救命・救出訓練



●海上保安庁：しらかぜ



●国土交通省：はるかぜ



●航空自衛隊：T4

孤立者や海上漂流者の救助、応急救護所における地震や津波による傷病者のトリアージ、応急救護、身元確認を行います。また、延焼するがれき等の消火、倒壊家屋や破損車両からの負傷者の救助を行います。

9:55～ 物資輸送訓練

大型ヘリコプターによる緊急車両や通信機材の輸送、船舶とトラックの連携による緊急物資輸送や給水支援等を行います。



●国土交通省：清掃兼油回収船 がんりゅう

10:30～ 航路啓開訓練

港湾施設の被害調査や船舶による油防除、航行船舶の支障となる沈降物の調査・揚収等の航路啓開を行います。



●航空自衛隊：CH-47J



10:29～ 浸水対策訓練

地震や津波による浸水及び堤防等河川管理施設の被災状況調査を行います。堤防決壊箇所における大型土のうによる仮締切、浸水箇所における、排水ポンプ車による排水作業を行います。



●国土交通省：排水ポンプ車

10:40～ 道路啓開訓練

地震や津波による道路被災状況、障害物等を調査し、緊急車両通行のため、がれきや被災車両の撤去、路面段差の応急対策を行い、走路を確保します。



●陸上自衛隊：軽装甲機動車



●国土交通省：遠隔操縦式バックホウ

11:11～ ライフライン復旧訓練

地震や津波により被害が発生したライフライン（水道、下水道、ガス、通信）について、各機関により応急復旧活動を行います。また、海上保安庁船舶への燃料供給支援等を実施します。



炊き出し

自衛隊、赤十字奉仕団などによる炊き出しを行います。
(カレーライス900食準備)
※無くなり次第終了します。



※航空機や船舶、車両等の写真は、各機関より提供。



取 材 要 領

1. 取材場所での留意事項について

○受付場所について

- ・ 受付場所：報道関係受付テント
※必ず受付をお願いします。
- ・ 受付時間 11月3日（金・祝）8:15～

○注意事項

- ・ 訓練会場へは、誘導看板及び誘導員の指示に従って入場をお願いします。
- ・ 駐車場は、報道関係者駐車場を利用し、受付にお越しく下さい。
（別添の案内図を参照）
- ・ 立ち入り可能エリア内は自由に取材可能です。それ以外の場所については、係員の指示に従ってください。（別添の案内図を参照）
- ・ 取材中は自社腕章を必ず着用してください。記者証又は社員証の提示を求めることがありますので、ご承知おき願います。

2. その他

災害対応等諸事情により訓練が中止・変更となる可能性があります。

訓練開始前の中止については、訓練ホームページ、九州地整 Facebook で訓練当日（11月3日）6時00分頃に「実施」又は「中止」いずれかを発信します。

（ホームページ URL） <http://tsunamibousai29.jp>

（九州地整 Facebook） <https://www.facebook.com/qsr.ml.it.go.jp/>

◆メイン会場 案内図◆

